



絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通し考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。
あなたはどんな空間を感じますか……

● 「波うちぎわの白いボート」という作品です。

- ・ ある絵本のワンシーンです。
何という絵本でしょうか。

- ・ 手前に、葉祥明さんオリジナルキャラクターの白い犬のジェイクがいます。海辺にはボートとそこに集まるたくさんのカモメたち。
カモメたちはボートの下にいる何かが気になる様子。
何がいるのでしょうか。



● 「ハイジ」を描いた作品です。

- ・ ヨハンナ・スピリの代表作で、日本では『アルプスの少女ハイジ』の名で知られています。
どこの国を舞台描いたのでしょうか。

- ・ 葉祥明さんも子供の頃に読んで、みたことのない国やアルプスや緑の牧草地に憧れたと言います。
物語に登場する食べものにも興味をもち、どんな味だろうと考えました。葉祥明さんの心の残った食べものは何ですか？



海や山、様々な情景を描いていますが、それぞれに物語があります。
物語の中に自分を登場させ 絵の中を探検すると、見るのが楽しくなるよ。

●この作品のタイトルは「銀河鉄道の夜」です。



- ・岩手県花巻市で葉祥明の原画展を開催した時に、描きおろした作品です。
花巻出身で「銀河鉄道の夜」という童話を書いた作家は誰でしょう。

- ・大正時代に書かれた童話に、平成に同作が描かれました。今また、令和と元号を変え、私達は作品を観ています。
共通するものは何だろう？100年を越える年月と、変化し続ける社会を取り払って、変わらないものに目を向けると、星空が浮かびます。
あなたにとって、変わらず大切にしたいものは何ですか？

- ・葉祥明さんが夜空を描く時「黒色」ではなく、濃紺を使います。
全ての飲み込んでしまう暗い「黒」ではなく、青から濃紺で描くことで、明るさを感じさせます。そこに一つずつ、細い筆で星を描いていくと奥行きが表現され宇宙へと繋がります。夜に星を眺めて下さい。少し明るい星、ひとときわ輝いている星、よく目をこらすと空がますます広く見えてきます。

作品の世界に入って絵を見ると、作品を深く感じる事ができるよ！